第3回 プレミアム研修要項

日本の総人口は2008年の1億2800万人のピークから現在は約1億2600万まで減少しています。昨年(2019年)に生まれた子どもは90万人を下回りました。このまま少子化に歯止めがかからなければ今世紀中に5,000万人を割り込むと予測されています。

変化が激しく加速度的に進む予測不能な今の時代に、何十年も先のことを考えるのは現実的でなく意味がないと考える方も多いことでしょう。しかし、10年後、20年後、30年後は必ず来ます。それも気づいた時には遅いかもしれません。いま未来を予測し何をすべきかを考えておくことは大切です。なぜなら、それは大切な子供たちの進路・将来に大きく関係してくるからです。

昨今のコロナ感染症の影響で世界中の様々な分野で大きな転換期を迎えています。働き方や生活スタイルも変化し、多くの企業も新しい対応を迫られています。学校教育も例外ではありません。第3回プレミアム研修は、高等学校新時代をいかに対応するかを考える20時間になります。この研修に参加する皆さまが新しい時代に自信を持って取り組むことができることを願っています。

1. 主題：高等学校新時代をいかに対応するか
2. 対象者：学校教職員、学校関係者等
3. 定員：30名
4. 募集期間：令和2年12月1日(火)～令和3年1月22日(金)
5. 申込方法：※令和3年1月22日必着。
 - (1) 郵送申込 所定の申込用紙にて郵送してください。
 - (2) FAX申込 所定の申込用紙にてFAX送信してください。
 - (3) Web申込 はつけんラボ(発研ホームページ)のGoogleフォームで申込してください。
6. 受講料：150,000円(税別)
 - (1) 納入期限 令和3年1月29日(金)
 - (2) 納入方法 下記口座へ振り込みをお願いします。

三菱UFJ銀行 浜松支店 普通預金
口座番号 0413929
口座名 一般財団法人発達支援研究所
※振込手数料は御申込者様のご負担でお願い致します。

7. 時間数：20時間（1日5時間 4日間）

8. 実施日時

日数	研修日	時間帯
1日目	令和3年2月19日（金）	◆午前の部 10:00～12:10 <休憩 10分間 1回> ◆午後の部 13:00～16:20 <休憩 10分間 2回> *1日5時間
2日目	令和3年3月1日（月）	
3日目	令和3年3月8日（月）	
4日目	令和3年3月19日（金）	

9. 実施場所：オンライン

10. 研修内容・講師

令和3年	時数	時間帯	題	内 容	講師
2月19日	1	10:00～12:10 (休憩 10分 1回)	高等学校新時代とビジネススキル 1	第1章 立体的にみる ①ビジネススキル ②熟考する ③図解 ④知覚力	三井康彦
	2				
	3	13:00～16:20 (休憩 10分 2回)	アフターコロナの特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナをサバイバルするための多様な学びとは ・アフターコロナにおける学びの進化の方向性 ・個別化、多様化の先にあるもの ・発達障害生徒の多様な可能性 	日野公三
	4				
	5				
3月1日	6	10:00～12:10 (休憩 10分 1回)	高等学校新時代とビジネススキル 2	第2章 今の時代。そして今後を見通す。 ①未来（予測）と進路指導 ②GIGA スクール構想、SDGs 教育	三井康彦
	7				
	8	13:00～16:20 (休憩 10分 2回)	オンライン授業の発展の動向 1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの講義・授業の配信の世界的な動向について、その歴史も含めて理解する ・日本における昨今の政策・法整備・教育環境の整備について理解する ・オンラインでの講義方法について、テクニカルな側面も含めて理解する ・障がい者、言語面での問題を抱えた学習者など、これまで受講に困難を抱えてきた学習者に対して、オンラインでの講義方法が示す可能性について理解する ・学習困難者がオンライン講義を受講する際の問題点とサポートの方法について理解する 	渡邊忠温
	9				
10					
3月8日	11	10:00～12:10	実践的教職論	教務的な視点から教員の仕事を再確認する	寺田直己

	1 2	(休憩 10 分 1 回)	(教務と服務)	と共に経験事例を通して教員としての在り方を再考する。	
	1 3	13:00~16:20 (休憩 10 分 2 回)	1. これからの VR, AR とリアルな世界 2. 発達障がいと IT、遠隔支援 3. ヴァーチャル世界の展開と教育	<ul style="list-style-type: none"> ・VR,AR 技術を取り込んでこれからの世界がどう変化していくか、簡単な AR 体験実習を通して考える ・ヴァーチャルな世界とリアルな世界の関係を考える ・療育支援の現場で模索されている遠隔支援についての理解を得る ・発達障がいの特性とヴァーチャルな世界の相性について考える ・VR 空間に参加する人々が新しい形の「リアル」な世界を創造していく側面を整理する ・VR 空間が作る世界が、虚構の共有によって私たちのリアルな世界を破壊する可能性を整理する ・それらの可能性と危険性を踏まえて、今子どもたちにどのような ITC リテラシー教育が必要なのかを考える 	山本登志哉
	1 4				
	1 5				
3 月 19 日	1 6	10:00~12:10 (休憩 10 分 1 回)	高等学校新時代とビジネススキル 3	第 3 章 ニュースからヒントを探し出す 不登校、高学歴、制服、留学・・・ 注目すべき 2 つの高校	三井康彦
	1 7				
	1 8	13:00~16:20 (休憩 10 分 2 回)	発達障がいを持つ児童生徒の発達の連続性を捉えた自立への支援	専門職の資質向上のためのケースメソッド教授法を用いた演習及び講義 1. 演習①観察—私の気になる子供、それはなぜ？—講義①チーム学校の感性を磨く 2. 演習②思春期に起きやすい問題と自立への支援—気になるけど、気にならない子供—講義②子供とその家族のヒストリー—積み残した課題と保護者支援のあり方— 3. 演習③支援者（専門職）としての自己理解講義③ダイバシティ-の感性養う	鎌塚優子
	1 9				
	2 0				

1 1. 講師プロフィール

鎌塚 優子 静岡大学教育学部 教授
 日野 公三 明蓬館高等学校 校長・理事長
 寺田 直己 元静岡県教育委員会主任指導主事・元静岡県立池新田高校 校長
 三井 康彦 一般財団法人発達支援研究所 代表理事
 山本登志哉 一般財団法人発達支援研究所 所長・シャローム大学教授
 渡辺 忠温 一般財団法人発達支援研究所 主席研究員

1 2. お問い合わせ先：

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-11-1 駿河台サンライズビル B 1
 一般財団法人発達支援研究所 (担当 渡辺)
 TEL&FAX 03-5244-517

第3回 プレミアム研修 申込書(個人用)

一般財団法人発達支援研究所

申込日	
フリガナ	
申込者名	
勤務先	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

第3回プレミアム研修 申込書(団体用)

一般財団法人発達支援研究所

フリガナ			
申込団体名 (法人名)			
住所			
電話番号			
メールアドレス			
申込担当者			
申込人数合計			
受講者名1		受講者名16	
受講者名2		受講者名17	
受講者名3		受講者名18	
受講者名4		受講者名19	
受講者名5		受講者名20	
受講者名6		受講者名21	
受講者名7		受講者名22	
受講者名8		受講者名23	
受講者名9		受講者名24	
受講者名10		受講者名25	
受講者名11		受講者名26	
受講者名12		受講者名27	
受講者名13		受講者名28	
受講者名14		受講者名29	
受講者名15		受講者名30	